

生産現場の問題解決

コース番号：002-032

2025年

開催日時：9月12日(金) 募集締切：8月29日(金)
9:30~16:30 (6時間)受講料
3,300円(税込)開催場所：ポリテクセンター山梨
定員：16名程度(先着順)
推奨者：中堅層

コースの狙い

生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得します。

主な訓練内容

◎ 生産活動の基本

(1) 生産活動の基本

生産現場で働く基本である現場標語(安全第一・品質第二・生産高第三)並びに
A B C (当たり前の事をバカにせずちゃんとやる)の徹底が問題を未然に防ぐ第一歩であることを再確認します。

(2) 5 S活動

5 S活動の目的、取り組むメリットについて理解を深めるとともに、5 Sを定着させていくためのポイントである「機能的」についてその意味を掘り下げて理解していきます。

◎ 現状分析とムダの発見

(1) ムダの放置のムダ

ムダを認識しているのに「今までこれでやってきたから」と言ってムダを放置することがムダであることを再確認し、その上で担当という壁を超えて自身の作業を俯瞰することで、放置しているムダの影響に気づく事、新たなムダの発見に繋がる事についても触れていきます。

(2) 動き(時間)のムダ

無意識にやっている動きのムダ(移動、積み替え、探索、手間、中断)について理解し、それらのムダについてどのように取り組んでいけば良いのか掘り下げて学んでいきます。

【演習】モノづくり演習

模擬的なモノ作りを通して5 Sが出来ていない事による間接時間の発生が生産性の低下につながっている事を体験し、間接時間を発生させる様々な問題を解決する重要性、間接時間削減のポイントを習得します。

◎ 生産現場の改善

(1) 改善の実務

小集団活動を中心とした現場の問題発見・解決活動の基本について再確認し、小さな改善を繰り返していく事の大切さについて理解を深めます。

(2) 自ら取り組む現場改善

現場改善は重要な職務の一つであるという認識を持ち、自ら進める現場改善について再確認し、改善に終わりはないことについても触れます。

【演習】現場の気づきシート作成

自身が気にしている(気づいている)ムダについて抽出し、どのような改善が望まれるのかアイデアを考えてもらいます。

○ 訓練内容のココがポイント！

本カリキュラムは間接時間を減らして生産性を向上させていくために、生産活動の基本である、現場標語・A B C・5 Sについて再認識と日頃の自身の業務の課題に気づくところから始め、その上で浪費してしまう時間を発見し、改善していくためのポイントを講義と演習を通して習得していくように構成しています。また、演習ではチームで話し合い・協力しながら課題解決していくように設計しており、日常業務だけでなく問題解決の場面でもチーム力を使っていく事の大切さを実感できるようにしています。

能力開発セミナー

Step Up!!

なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善 [在職者訓練：コース№PS04]

開催日：10月14日(火)&15日(水) 定員：10名 受講料：17,000円

訓練時間：12時間(6時間×2日間) ※各日9:30~16:30

工程管理/技術管理の生産性向上を目指して、効率化、適正化、最適化、安全性向上に向けて問題の真の要因を原理・原則に基づいて追及し、三現主義で現場改善を実践する手法を学ぶコースです。

※ 生産性向上支援訓練「⑬ 生産現場の問題解決」と連続して受講すると効果的です。
訓練内容のお問合せ、お申込みはポリテク山梨 訓練課 セミナー担当 (055-242-3066) まで。

お申し込みは

※ 当HP内「令和7年度オープンコース第2弾受講者募集のご案内」の下部に、Excel形式で直接必要事項が入力できる「オープンコース第2弾受講申込書」があります。